kosei
生かされ、生きるチカラ。

娘のありのままを受け入れると家庭に笑顔があふれた。

熊谷教会　宮城通江さん

平成18年の秋、夫と二人で暮らす宮城さんの家へ、二女が4人の子を連れて戻ってきた。突如はじまった家族8人の生活。苦しい家計、孫の世話、将来への不安。宮城さんは、現状を招いた娘にもっと責任感をもち、子どもの気持ちを受けとめられる母親になって欲しい…と苛立ち、諍いが生まれる。そんな悩みを抱え続けていたある日、「娘にそう願うなら、まずはあなたがそうならないと」と知人から諭される。思えば、口やかましく叱るばかりで、気持ちを聞いてあげることはなかった。子どもを連れて実家に戻った娘は、どれほど切なかっただろう…。そう心があらたまると、娘なりの気遣いや愛情深く子どもに接している姿が見えてきた。娘が思いどおりにならないと思えば思うほど、自身を苦しめる。問題は自分にあったのだと気づき、娘を信じ、ありのままを受け入れられるようになった。いまも家計は楽ではないが、孫たちはみな明るくて思いやり深く、その笑顔が家庭に元気を与えてくれている。

悪いことはしない

法句経に「悪を行なえばあとで悔いる」という言葉があります。悪いことをしないのは、悔いのない日々を送るためだというのです。悔いのない日々とは、心がいつも晴れ晴れとして楽しく、充実した毎日をすごすということです。これ以上の幸せがほかにあるでしょうか。

しかし、善も悪も、人により、時代により、縁によって変化するので、多くの先哲が善悪は定め難く、人間の思慮を越えるものだといい残しています。ある方は、生命の発展に順うものが善で、生命の本流に逆行するものが悪だといいます。これはつまり、真理・法にそった言行が善であり、自他の命の尊厳を軽んじる言行が悪であるということになるでしょう。

そのように見ると、仏教で説く「十悪」は、いずれも自他の尊厳を損なう行為といえます。いたずらに生き物を殺す、人のものを盗む、悪口や嘘やごまかしをいう……こうした行為は、人の恨みを買ったり、人を怒らせたり悲しませたりして、その結果、後悔することにつながります。悔いなく生きるには悪いことをしない――これは、まさに人生の鉄則といえましょう。

立正佼成会
www.kosei-kai.or.jp Eメール：info@kosei-kai.or.jp　〒166-8537 東京都杉並区和田2丁目11番1号　TEL.03-5341-1615